

平成 31 年度入学試験問題(前期)

国 語

【注 意 事 項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 本冊子には、一から三までの3問題が印刷されていて、合計15ページある。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙を別に配付している。解答は、解答用紙の指定された箇所に記入すること。所定の箇所以外に記入したものは無効である。
4. 解答の字数を指定している場合、句読点や符号やかっこ等もそれぞれ一文字分にかえる。
5. 解答用紙の指定された欄に、学部名および受験番号を記入すること。
6. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
7. 配付された問題冊子は、持ち帰ること。

— 次の文章は、学生運動や市民運動が盛んであった一九六九年に行われた講演の速記録をもとにしている。文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

(小林直樹こばやしなおき「政治における寛容と不寛容」より。本文の一部を改変)

(注) ○ドグマ — 教義、教理。 ○ミリタント — 戦闘的、好戦的。

○破防法 — 破壊活動防止法(一九五二年施行)の略称。

問一 傍線あゝおの漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

あ 欺瞞 い 退(け) う 掌握 え 翻(つて) お 庇護

問二 傍線カ、コのカタカナを漢字に直しなさい。

カ ジュウナン キ ウ ク レイコク ケ ユウエツ コ ケンジ

問三 空欄

a

d

 に入る最も適当な語句を次より選び、それぞれ記号で答えなさい(それぞれの記号は一度しか使わない)。

ア したがって イ さらに ウ なぜなら エ ところが オ たとえば

問四 傍線1「そのような合理的な選択機能」とあるが、「そのような」が示す内容を三十字以内で抜き出し、初めと終わりの五文字をそれぞれ書きなさい。

問五 傍線2「彼らだけに向かつて一方的に、『暴力はいけない』などとお説教する資格は、政府にもマス・コミにもないはずであります」とあるが、筆者がそのように考えるのはなぜか。最も適当な説明を選択肢から選び、記号で答えなさい。

- ア 議会にも様々な問題があることは明らかだが、少数派である若者は守られなければならないから。
- イ 抗議する若者たちに対して、治安権力の側も暴力を行使している点で平等だと考えるべきだから。
- ウ 支配する力を持っている側が、本来あつた前提や建前をないがしろにしているかを問うべきだから。
- エ 議会の現状に対して若者がプロテストすることは、若い世代の振る舞いとして自然な反応だから。
- オ 体制に対する反逆も暴力だが、その現象をあげつらう側にも暴力性は潜んでいると言えるから。

問六 傍線3「相対主義は民主主義と、本質的に結びあうものである」とあるが、それはどういうことか。本文の言葉を用いながら、五十字以内で説明しなさい。

問七 傍線4「宋襄の仁」について説明している次の文の1、2、3にあてはまるものを後の選択肢から選び、それぞれ記号で答えなさい。

「宋襄の仁」とは、『十八史略』に基づく故事である。宋の襄公が楚と争っていたとき、「1」という臣下の進言に対し、「2」と言った。襄公の言った通りにしたところ、宋は負けたという。ここから、「3」ことを表すようになった。

- | | | | |
|---|------------------|---|---------------------|
| 1 | ア 敵に襲撃される前に逃げよう | 2 | ア 君子は人の弱みにつけこんではならぬ |
| イ | 敵の援軍が来る前に和解しよう | イ | 武人なら手段を選ばずに戦わねばならぬ |
| ウ | 敵国の民を我が国の民としよう | ウ | 苦しい時でも敵に背中を見せてはならぬ |
| エ | 敵が陣を敷く前に攻めよう | エ | いかなる時も民の自由を守らねばならぬ |
| 3 | ア 運命をかけた大勝負に挑む | | |
| イ | 必要のない情けをかける | | |
| ウ | 一歩も引けない状況で全力を尽くす | | |
| エ | 相手を出し抜いて有利な立場に立つ | | |

問八 空欄 X に入る言葉を、本文中から四字で抜き出しなさい。

問九 傍線5「行きすぎた寛容」とあるが、それはどういうことか。本文の言葉を用いながら、二十字以内で簡潔に述べなさい。

問十 傍線6「開いた」と傍線7「閉じた」という言葉は、どのような状態を指しているか、それぞれ説明しなさい。ただし、傍線6については三十字以内、傍線7については二十字以内とする。

問十一 二重傍線A「非常に危険な意味」とあるが、筆者は民主主義にとって何がどのように危険だと考えているのか。八十字以内で説明しなさい。

一一 次の記事を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

〔今物語〕四〇「定家と家隆」より

(注) ○内裏、仙洞、摂政家 — 順徳天皇を中心とする内裏歌壇、後鳥羽院を中心とする仙洞歌壇、藤原道家を中心とする摂政九条家歌壇のこと。

○摂政殿 — 藤原道家のこと。 ○畳紙 — 和歌などを書く懐紙。

問十二 傍線1「いづれもとりどりに、そこをきはめさせ給へり」とはどのような状況を表しているか。次の中から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 身分の高い人から低い人まで、皆が和歌に熱中していた。

イ 都だけでなく地方でも、皆が和歌を楽しんでいた。

ウ 皇族も貴族も、様々な歌を詠まなくてはならなかった。

エ それぞれの流派が対抗し、和歌のできばえを競っていた。

オ 皇族も貴族も、皆が和歌をきわめ、盛んに詠んでいた。

問十三 二重傍線あ「定家」が撰者の一人となった、第八番目の勅撰和歌集の名称を漢字で答えなさい。

問十四 傍線A・Bについて、Aは「この二人」を明確にしつつ、わかりやすく現代語訳しなさい。

問十五 傍線2「ありのままに」の下に省略されている言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 詠め イ 申せ ウ 召せ エ もてなし給へ オ 難ぜよ

問十六 傍線3「いづれともわきがたく候」とばかり申して、思ふやうありげなるを」とはどのような様子を指しているか。最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア あまりにも難しい質問のために、答えられずに困っていた。

イ 答えると問題が起きてしまったため、答えたくなくて困っていた。

ウ 変な質問に、馬鹿にされていると感じていきどおっていた。

エ 答えは決めているものの、わざと答えられないふりをしていた。

オ あまりにもわかりきったことを問われて、戸惑っていた。

問十七 二重傍線いゝおについて、その文法的説明を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 尊敬の助動詞 イ 尊敬の補助動詞 ウ 完了の助動詞 エ 強意の助動詞

オ 断定の助動詞 カ 推量の助動詞 キ 過去の助動詞 ク 副詞の一部

ケ 伝聞の助動詞 コ 謙譲の補助動詞

問十八 和歌中の空欄C・Dにあてはまる言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア	花	イ	雲	ウ	月	エ	星	オ	夕日
カ	もちづき	キ	かけはし	ク	ちぎりを	ケ	うきくも	コ	もみじは

問十九 傍線4「たかやかにながめて出でぬ」とは、どのような様子を指しているか。最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 背筋を伸ばし、堂々とした態度で退出していった。

イ 高らかに、歌を詠じながら退出していった。

ウ よく響く声で、詩を朗々と吟じながら出ていった。

エ 明確なよく通る声で、自作の歌を詠み出した。

オ 深く物思いにふけつた様子で退出していった。

問二十 傍線5「まめやかの上手の心は、されば一つなりけるにや」とあるが、これはどういうことか。六十字以内で説明しなさい。

い。

三 次の唐の詩人・杜牧の「宣州開元寺の水閣に題す」という詩を読んで、後の問いに答えなさい（設問の都合で返り点・送り仮名を省略したところがある）。

著作権の関係上、省略します。

（『樊川文集』より）

(注) ○六朝 — 建康(南京)に都を置いた六つの王朝、呉・東晋・宋・齊・梁・陳を指す。華麗な貴族文化が栄えた時代。

○文物 — 学問・文学・芸術・思想・宗教など人間の文化的な営みの所産の総称。

○山色 — 山の景色。 ○一笛 — 一曲の笛の音。 ○簾幕 — 簾は、すだれ。幕は、とばり。

○惆悵 — 失意・落胆の悲しみに沈むさま。

○范蠡 — 春秋末期、越王勾践を助けて呉を破った功臣。のちに隠遁して自由に生きた。理想的な出処進退の体現者として追慕される。

○参差 — 草木などが長短・高低ふぞろいなさま。 ○煙樹 — 霧などで霞んでいる樹木。

○五湖 — 江南の水郷を代表する太湖および周辺の湖の総称。

問二十一 この詩の詩型は何か。漢字で答えなさい。

問二十二 第3句と第4句、第5句と第6句のような修辞法を何と言うか。漢字で答えなさい。

問二十三 二重傍線 a・b・c について読み方を平仮名で書きなさい。

問二十四 空欄 A に入れるのに最も適当な語を一つ選び、記号で答えなさい。またその語を選んだ理由について述べなさい。

ア 東 イ 西 ウ 南 エ 北

問二十五 傍線1の句にこめられている感慨として最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア すぐれた文化は、天下にあまねく広まるのだなあ。

イ 人間の営みというものは、はかないものだなあ。

ウ すぐれた文化は、今も昔も変わらないものだなあ。

エ 人間の営みは、受け継いでゆくことが大切なのだなあ。

問二十六 傍線2の句の訳として最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 今となつては会ってみても仕方がない。

イ 会おうにも会ってもらえるはずがない。

ウ 今となつては会いたいとは思わない。

エ 会おうにも会おうための手立てがない。

問二十七 この詩の趣旨と思われるところを、次の語を用いて、四十字以内で述べなさい。

・文物 ・自然 ・時の流れ

問二十八 作者と同時代の詩人を次の中から一人選び、記号で答えなさい。

ア 白居易 イ 陸游 ウ 陶淵明 エ 蘇軾 オ 曹植